



# 流域下水道の下水管の老朽化対策 について

令和8年2月  
県土整備局



## ○ 緊急点検及び全国特別重点調査

- ・ 八潮市の道路陥没事故を受け、令和7年1月30日から県管理の下水管の緊急点検等を実施

### 県が管理する全ての下水管（延長約174km）

▶ 緊急点検（目視点検・空洞調査）を実施 ➡ 下水管に起因する異常は認められていない

（対象：全ての下水管）

- ・ 目視による道路の変状調査
- ・ 目視による下水の流下状況調査
- ・ レーダー探査車による空洞調査

#### 流下状況調査



#### 空洞調査



▶ 全国特別重点調査(下水管内部の劣化状況の調査)を実施(対象：管径2m以上かつ30年経過管等(延長約61km))

➡ 調査中(2月未完了予定)

- ・ テレビカメラによる調査  
腐食しやすいなど優先的に実施すべき箇所は調査を完了

#### 自走式テレビカメラ



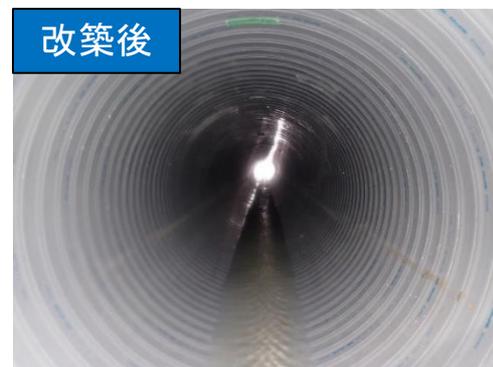
#### テレビカメラ調査画像



## ○ 下水道の老朽化対策の加速化

- ・ 全国特別重点調査では、**下水管の劣化の判定基準が従来より強化され、改築・修繕の対象となる管が増えたことから、対策を加速化していく**

### ■ 老朽化により全体的に腐食が進行した下水管の改築例



### ■ 下水管の改築・修繕延長の推移

	平成27～ 令和6年度	令和7年度	令和8年度
改築延長	231m	-	1,980m
修繕延長	527m	340m	550m

令和9年度以降も引き続き対策を実施し、令和12年度までに、大規模で古い下水管の健全性の確保率100%を目指す。